

【注意事項】

R20TS1070JJ0100

Rev.1.00

2024.10.20

RX ファミリ QE for Display モジュール

Firmware Integration Technology

概要

RX ファミリ QE for Display モジュール Firmware Integration Technology (以下、QE Display モジュール)の使用上の注意事項を連絡します。

1. RX ファミリ SCI モジュール Firmware Integration Technology の受信キューに使用されるバッファサイズ (SCI_CFG_CHx_RX_BUFSIZ : x はチャンネル) を設定するときの注意事項
2. ディスプレイ対応開発支援ツール QE for Display[RX] スタンドアロン版の「TCON と LCD 設定」タブにおいて「出力データのビットエンディアン」、「出力データのピクセル順序」を設定する場合の注意事項

1. RX ファミリ SCI モジュール Firmware Integration Technology の受信キューに使用されるバッファサイズ (SCI_CFG_CHx_RX_BUFSIZ : x はチャンネル) を設定するときの注意事項

1.1 該当製品

RX ファミリ QE for Display モジュール Firmware Integration Technology Rev.1.00 (R01AN7283JJ0100)

1.2 該当デバイス

- RX651, RX65N グループ (ROM 容量: 1.5MB ~ 2MB)
- RX66N グループ
- RX72N グループ
- RX72M グループ

1.3 内容

ディスプレイ対応開発支援ツール QE for Display[RX] スタンドアロン版 (以下、QE for Display) との通信処理には RX ファミリ SCI モジュール Firmware Integration Technology (以下、SCI モジュール) を使用しています。

この SCI モジュールの受信キューに使用されるバッファサイズ (SCI_CFG_CHx_RX_BUFSIZ : x はチャンネル) を特定の値に設定すると QE for Display との通信に問題が発生し、LCD の調整作業ができません。

1.4 発生条件

SCI モジュールの受信キューに使用されるバッファサイズ (SCI_CFG_CHx_RX_BUFSIZ : x はチャンネル) を以下の値に設定すると通信に問題が発生します。

設定値 : 124、94、83、63、42、32

1.5 回避策

SCI モジュールの受信キューに使用されるバッファサイズ (SCI_CFG_CHx_RX_BUFSIZ : x はチャンネル) に 124、94、83、63、42、32 以外の値を設定してください。

1.6 恒久対策

Rev.1.10 で改修済みです。Rev.1.10 をご使用ください。

2. ディスプレイ対応開発支援ツール QE for Display[RX] スタンドアロン版の「TCON と LCD 設定」タブにおいて「出力データのビットエンディアン」、「出力データのピクセル順序」を設定する場合の注意事項

2.1 該当製品

RX ファミリ QE for Display モジュール Firmware Integration Technology Rev.1.00 (R01AN7283JJ0100)

2.2 該当デバイス

- RX651, RX65N グループ (ROM 容量: 1.5MB ~ 2MB)
- RX66N グループ
- RX72N グループ
- RX72M グループ

2.3 内容

QE for Display の「TCON と LCD 設定」タブにおいて「出力データのビットエンディアン」、「出力データのピクセル順序」が正しく設定されません。

2.4 発生条件

常時発生します。

2.5 回避策

r_qe_display_lcd.c 内の以下の関数の赤字部分を変更してください。

修正前

```
static void r_set_display_param_output(uint8_t * p_data)
{
    uint32_t temp;

    (中略)

    /* Back ground color */
    temp = (uint32_t) (((*(p_data + 2)) << 16) | ((*(p_data + 1)) << 8) |
    (*(p_data)));
    s_display_cfg.output.bg_color.argb = temp;
    p_data += 3;
    (中略)
}
```

修正後

```
static void r_set_display_param_output(uint8_t * p_data)
{
    uint32_t temp;

    (中略)

    /* Back ground color */
    temp = (uint32_t) (((*(p_data + 2)) << 16) | ((*(p_data + 1)) << 8) |
(*p_data));
    s_display_cfg.output.bg_color.argb = temp;
    p_data += 4;
    (中略)
}
```

2.6 恒久対策

Rev.1.10 で改修済みです。Rev.1.10 をご使用ください。

以上

改訂記録

Rev.	発行日	改訂内容	
		ページ	ポイント
1.00	Oct.20.24	-	新規発行

本資料に記載されている情報は、正確を期すため慎重に作成したのですが、誤りがないことを保証するものではありません。万一、本資料に記載されている情報の誤りに起因する損害がお客様に生じた場合においても、当社は、一切その責任を負いません。

過去のニュース内容は発行当時の情報をもとにしており、現時点では変更された情報や無効な情報が含まれている場合があります。

ニュース本文中の URL を予告なしに変更または中止することがありますので、あらかじめご承知ください。

本社所在地

〒135-0061 東京都江東区豊洲 3-2-24（豊洲フォレシア）

www.renesas.com

お問合せ窓口

弊社の製品や技術、ドキュメントの最新情報、最寄の営業お問合せ窓口に関する情報などは、弊社ウェブサイトをご覧ください。

www.renesas.com/contact/

商標について

ルネサスおよびルネサスロゴはルネサス エレクトロニクス株式会社の商標です。すべての商標および登録商標は、それぞれの所有者に帰属します。